

申込書 (1/2)

記入例
(記入上の注意)

受給希望者	フリガナ	メイコウ タロウ	性別	男・女
	氏名	明光 太郎	生年月日	西暦 2001 年 8 月 1 日生
			年齢	14 歳
	在籍校名	●●区立 ●●中学校 2 年 2 組		
	電話番号	自宅 (03) 1234 - 5678	写真 (4cm×3cm 以上の 大きさの写真を用いて、 写真の裏面に受給希望者の氏名を記入して、 のりで貼り付けてください)	
		携帯 () -		
メール	Taro▲▲▲@●●●.jp			
現住所	〒111-1111 東京 都道 ●●区 ●●町 1-2-3 府県 ●●マンション 101 号室			

自宅の電話と携帯電話どちらかしかお持ちでない場合は、お持ちのほうのみご記入ください。

メールアドレスをお持ちでない場合は記入不要です。

申込者	フリガナ	メイコウ ハナコ	性別	男・女
	氏名	明光 花子	生年月日	西暦 1973 年 8 月 1 日生
			年齢	42 歳
	電話番号	自宅 () 同上 -	続柄	母
		携帯 (080) 8765 - 4321		
	メール	Hanako▲▲▲@●●●.jp		
勤務先	□□スーパーマーケット ●●店 (パート勤務)			
現住所 (本人と 同じ場合 「同上」)	〒 都道 同上 府県			

申込者の電話番号や住所が、受給希望者と同じ場合は、「同上」とご記入ください。

忘れずにマルをつけてください。

当財団からの連絡を主に受ける方にマルをつけてください	受給希望者 ・ 申込者
----------------------------	-------------

左端にチェックをいれてください。

奨学金給付希望年数 (どちらかひとつにチェックをいれてください)			
☒	現在、在籍する学校の最終学年ではなく、4月からも、今と同じ学校に通い続ける予定である		
	現在在籍している学校の「最短就業年数」(例：小学校は6年、中学校は3年…)	①	3 年
	給付希望年数 (最短1年、最長＝①の数字－現在の学年の数字)		1 年
☐	現在、在籍する学校の最終学年 (小6、中3、高3等) であり、4月からは別の学校に進学する予定である		
	第1志望学校・学科・学部名		
	区分	国公立 ・ 私立	最短就業年数
	給付希望年数 (最短1年、最長＝②の年数)		年

どちらか一方を必ずご記入ください。
(記入漏れは失格となります。)

受給希望者の状況 (どれかひとつにチェックをいれてください)	
☒	ひとり親家庭の子女である
☐	健康上の理由で就労が困難な保護者の子女である
☐	児童養護施設、母子生活支援施設、自立援助ホームに入所している (以下の内容を記入してください)
	施設名
☐	里親家庭の子女である

左端にチェックをいれてください。

この欄の記入内容は選考審査には影響しません。

当財団の「第一回 給付奨学金」に申し込んだことがありますか？	はい ・ いいえ
--------------------------------	----------

申込書 (2/2)

記入例

(記入上の注意)

受給希望者と 生計を一にする家族 及び 所得							
非就学者	氏名	続柄	年齢	居住	勤務先	年間所得	
	明光 花子	母	42 歳	同居・別居	明光スーパーマーケット ●●店	120 万	円
			歳	同居・別居			円
			歳	同居・別居			円
			歳	同居・別居			円
就学者、乳幼児	氏名	続柄	年齢	居住	設置者別	学校名	学年
	明光 太郎	本人	14 歳	同居・別居	国・公・私	●●区立 ●●中学校	2 年
	明光 次郎	弟	9 歳	同居・別居	国・公・私	●●区立 ●●小学校	3 年
			歳	同居・別居	国・公・私		年
			歳	同居・別居	国・公・私		年
世帯の所得						120万	円

受給希望者が施設に在籍している場合は、この欄の記入は必要ありません。

現在学校に通っている方や、未就学のお子様の情報はこちらにお書きください。
なお、未就学のお子様の「設置者別」「学校名」「学年」は空欄で結構です。

上記「年間所得」欄の金額の合計をご記入ください。

家庭事情 (奨学金を希望する事情、その他説明を要することを具体的に記入)	
● ひとり親家庭になった／施設に在籍することとなった／里親制度を利用することとなった経緯や理由、保護者が就労困難である事情などの説明	
● 現在の生活の状況、経済的な理由や健康上の理由などによる生活上困難な点	
● 受給希望者の勉学への取組み状況	
● ほか、説明を要すること	
……などを、できるだけ具体的にご記入ください。	

公益財団法人 明光教育研究所 御中

以上の記載内容および申し立て事項に相違ありません。

貴団体の奨学生としてご採用いただきたく、お願いいたします。申込にあたり、貴団体「奨学金規程」「個人情報保護規程」の内容を確認し、同意いたします。奨学生として採用された際は、貴団体の奨学金規程に従い、その責務を果たします。

この書類を記入した日付をご記入ください。

平成 27 年 ● 月 ● 日

受給希望者 明光 太郎

申込者 明光 花子

明光

受給希望者・申込者それぞれ、直筆で署名をお書きください。
申込者の方はあわせてご捺印ください。

奨学金使用目的書（1/2）

記入例
(記入上の注意)

使用目的は、募集要項に記載された目的以外は認められませんのでご注意ください。
来年度（4月～3月）にかかる費用をご記入ください。

できるだけ具体的に
お書きください。

(1) 将来の夢と学習目標（全員が記入）

僕の将来の夢は、小学校の先生になることです。その理由は、小学5年生の時の担任の先生がとても優しく、悩み事の相談に乗ってくれたりして、自分もこんな先生になりたいと思ったからです。
そのために、大学に行って、教員免許を取れるように勉強したいのですが、僕の家はあまりお金がないので、お金のかからない国立の大学に行きたいと思っています。
今、僕は中学2年生で、来年は高校受験をするのですが、高校もお金がかからない公立に行きたいです。
できれば、進学校の都立◇◇高校に入って、国立大学に合格できるように勉強したいと思っているのですが、都立◇◇高校は偏差値が58必要で、今の僕の偏差値は52なので、苦手な英語と数学の点を上げないと難しいと思っています。そこで、中学3年生になったら、塾に通って、英語と数学を勉強したいです。

※ 目標とする将来像（夢・職業・志望校など）と、そのために今どのような勉強が必要か、また現状と目標とのギャップなど、できるだけ具体的にお書きください。

左端にチェックを
いれてください。

(2) 奨学金の使用目的（全員が記入）（チェックを入れてください／複数可）

☐	学校の授業料、入学金、施設負担金、給食費、制服代、学校指定備品代	→ (3) をご記入ください
☒	塾・予備校・家庭教師・通信教育費用	→ (4) をご記入ください
☐	書籍代（教科書、参考書、問題集購入費用）	→ (5) をご記入ください

左端にチェックを
いれてください。

(3) 学校の授業料、入学金、施設負担金、給食費、制服代、学校指定備品代の金額について

☐	現在、在籍する学校の最終学年ではなく、4月からも、今と同じ学校に通い続ける予定である			
	在籍校名	金額	①	円／年
	来年の学校生活への 意気込み			
☐	現在、在籍する学校の最終学年（小6、中3、高3等）であり、4月からは別の学校に進学する予定である			
	第1志望校名	金額	②	円／年
	志望理由、この学校で 学びたいこと			
	第2志望校名	金額		円／年
	志望理由、この学校で 学びたいこと			
	第3志望校名	金額		円／年
	志望理由、この学校で 学びたいこと			
必要になる金額（①または②の金額を記入）				A 円／年

一年間で必要になる
金額を税込で記
入してください。

志望度の高い順にお書
きください。
(志望校が2つ以下の
場合は、ある分だけご
記入ください。また、
4つ以上の志望校があ
る場合は「別紙」にご
記入ください。)

なお、ここに書かれて
いない学校に進学する
ことになった場合は、
奨学金の給付ができな
くなりますのでご注意
ください。

金額を記入する前に、募集要項5ページ（注2）を参考にして、「金額の根拠となる資料」をご準備ください。
「金額の根拠となる資料」に記載されていない金額は、本用紙には記入できません。

記入の際には、「金額の根拠となる資料」の、該当の金額が記載された箇所を、
赤いペンで丸を付けたり、蛍光マーカーで印を付けたりして目立たせてください。
(例：塾の授業料を希望するので、塾のパンフレットの該当の金額が書いてある場所に赤いペンで丸をつけて、
このパンフレットを「金額の根拠となる資料」として提出する)

なお、「金額の根拠となる資料」は、複数ご用意いただくことができ、
(例：「学校の給食費が書かれたプリント」と「学校の制服の料金が書かれたプリント」など)
これらを足し合わせた金額を記入することができます。
(例：「学校の給食費5万円」＋「学校の制服3万円」＝「8万円が必要」など)
この場合、それぞれの金額が書いてある場所を目立たせてください。
(例：それぞれのプリントの、「5万円」「3万円」と書かれている場所に蛍光マーカーで線をひく)

奨学金使用目的書（2/2）

記入例
(記入上の注意)

(4) 塾・予備校・家庭教師・通信教育費用の金額について			
区分	塾・予備校・家庭教師・通信教育	費用	B 466,000 円／年
塾、予備校、家庭教師、通信教育機関名称		◎◎塾	
教室名（あれば）	●●教室	コース名（あれば）	
受講科目	英語(高校受験対策) 週2回		
	数学(高校受験対策) 週1回		
受講したい理由	英語は、学校の授業が難しくなってきたので、文法や単語を基本から勉強したい。		
	数学は、図形の問題が難しいので、苦手を克服したい。		
	しっかり勉強して、◇◇高校を目指せる実力をつけたい。		
その他、備考 (任意記入)	月謝 38,000 円×12 か月 = 456,000 円		
	入塾手数料 10,000 円がかかるので合計 466,000 円		

一年間で必要になる金額を税込で記入してください。

(5) 書籍代（教科書、参考書、問題集購入費用）の金額について		
書籍名、その内容、その金額、購入したい理由		
	合計金額	C 円

一年間で必要になる金額を税込で記入してください。

(6) 給付希望金額（全員が記入）	
必要となる金額の合計（A+B+C の金額）	D 466,000 円／年
給付希望金額 (D の金額が 50 万円未満の場合は D の金額をそのまま記入。 D の金額が 50 万円以上の場合は「50 万円」と記入。差額は自己負担となります。)	466,000 円／年
自己負担金が発生する場合、どのように補てんする予定かご記入ください	

例えば、90 万円の学費が必要な大学に通う場合、当奨学金による給付 50 万円を差し引いた残額 40 万円をどのように用意する予定か（アルバイト、援助など）お書きください。

給付希望金額が 50 万円以下となった場合、この欄の記入は不要です。

上記のとおり申告いたします。

平成 27 年 ● 月 ● 日

受給希望者		申込者	
フリガナ	メイコウ タロウ	フリガナ	メイコウ ハナコ
氏名	明光 太郎	氏名	明光 花子

本用紙の記入が終わったら、記入した金額と、「金額の根拠となる資料」に記載されている金額が、一致しているかどうか、もう一度確認してください。

また、「金額の根拠となる資料」の該当の金額が記載された箇所が、印などで目立つようにしてあるかも、あわせてご確認ください。

これらの金額が一致していない場合、及び、「金額の根拠となる資料」に印などがつけられていない場合は、書類不備として失格になりますので、十分にご注意ください。

一カ月分の生活費申告書

記入例 (記入上の注意)

平成 27 年 10 月分の収入と支出 ※1			
収入 ※2		支出	
項目	金額	項目	金額
花子(母)パート代	100,000 円	家賃	25,000 円
	円	電気、ガス、水道代	15,000 円
	円	通信費(固定電話)	2,000 円
	円	通信費(花子と太郎の携帯電話)	4,000 円
	円	食費	20,000 円
	円	保険料(〇〇保険)	10,000 円
	円	医療費	2,000 円
	円	美容費(化粧品、美容院)	5,000 円
	円	学費	10,000 円
	円	その他雑費(冠婚葬祭、服など)	5,000 円
	円		円
	円		円
	円		円
	円		円
	円		円
	円		円
合計	100,000 円	合計	98,000 円

ご家庭の平均的な生活実態がわかるよう、任意の一カ月間の収入と支出をご記入ください。

この記入例では「円」単位で記入していますが、「千円」、「万円」など、書きやすい単位でご記入いただいても構いません。

合計金額をご記入ください。
(収入合計と支出合計が一致しなくても構いません。)

- ※1 ご家庭の平均的な生活実態がわかるよう、任意の一カ月間の収入と支出をご記入ください。
- ※2 収入欄には、他団体奨学金、年金、扶助料、手当金、保険金、保証金 などをご記入ください。隔月以上の周期で発生する収入・支出がある場合、月割計算の上、「一カ月分」としてご記入ください。
- 例：毎年、5月と12月に、ボーナスで12万円ずつの収入がある場合
年間収入額=12万円×2回=24万円 一カ月分の収入=24万円(1年分)÷12カ月=2万円

その他、特記事項など(任意記入欄)

上記のとおり申告いたします。

平成 27 年 月 日

- ※ 1 家族内の複数名の子どものについて、まとめて本奨学金の受給を申込み場合、本用紙の提出は1枚で結構です。(他の書類は奨学金受給希望者ごとにご記入ください)

申込者	
フリガナ	メイコウ ハナコ
氏名	明光 花子

施設に在籍している方は、本書類の提出は不要です。

ただし、施設に在籍している方及び里親委託措置を受けている方で、次の4月から施設を退所及び里親委託措置を解除して、いわゆるひとり立ちする予定の方は、4月以降の収支計画を概算でご記入ください。
(例：毎月いくらの家賃と光熱費を支払う予定で、毎月いくらのアルバイト収入を得る予定、など)

記入例
(記入上の注意)

学校の教職員の方へ

本財団「公益財団法人明光教育研究所」の奨学金は、
学習意欲が高くても経済的理由で学習機会に恵まれない子どもたちに対して、奨学金の給付を行うことで、
子どもたちの明るい未来を創造することを目的としています。

本書類は、奨学金を受給する生徒様の在学する学校の教職員の方に、ご記入をお願いしております。

大変お手数ですが、本書類へのご記入のご協力をお願い致します。

公益財団法人明光教育研究所

電話番号 03-5937-2691 (受付: 平日 9:30~18:00) (土・日・祝日を除く)

FAX 03-5937-2692 (受付: 24 時間)

Web サイト <http://www.meiko-zaidan.jp/>

メール info@meiko-zaidan.jp

推薦書

学生 (受給希望者)		推薦書作成者	
フリガナ		フリガナ	
氏名		氏名	印
在籍	年 組	職名	

大変お手数ですが、
ご記入者様のご署名・
ご捺印をお願い致します。

※ 成績を証明する資料として、成績証明書、直近の通知表のコピーなどをあわせてご提出ください。

学習所見	活動実績 (部活、課外活動など)
出席状況 (休学、停学等の状況を含む)	健康状態
人柄に対する所見	推薦理由

出席状況・健康状態に
つきましては、特筆事
項や考慮すべき事情
のご説明等がありま
したらご記入くださ
い。
そういったことがな
い場合は、「問題なし」
等とご記入ください。

その他、特記事項など (任意記入欄)

公益財団法人 明光教育研究所 御中

本学に在籍する上記の者は、貴団体の奨学生として適当であると認め、推薦いたします。

平成 年 月 日

学校名

学校長 (学長、学部長)

印

原則として、
学校長様のご署名・
ご捺印をお願いして
おりますが、
大学様の場合は、
学部長様のご署名・
ご捺印で結構です。